

桑員区域の平成30年度具体的対応方針(案)

とりまとめ総括

- ・医療需要のピークを勘案した将来の病床数の必要量と2025年に向けた医療機能ごとの病床数との比較では、病床総数は157床不足となるため、合意とする。
- ・定量的基準導入後の各医療機能の充足状況は、全ての医療機能で不足かほぼ過不足なしとなるため、合意とする。
- ・2025年に向け、各医療機能の充足状況を確認し、各医療機能の確保・強化を図っていくため、毎年度、具体的対応方針を協議し、とりまとめることとする。

2017年病床機能報告(アンケート調査反映後)						
医療機関名	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休養・無回答等	計
桑名東医療センター	27	294				321
桑名西医療センター	-	-			-	0
桑名南医療センター					79	79
いなべ総合病院		220				220
日下病院		106		48		154
青木記念病院		46	58			104
ヨナハ総合病院		53	52	42		147
ヨナハ産婦人科小児科病院		38				38
もりえい病院		34		20		54
長島中央病院				256		256
大安病院				50		50
桑名病院				50		50
山崎病院				48		48
ウエルネス医療クリニック		19				19
ほりベレディースクリニック		13				13
中部眼科		10				10

2025年に向けた役割・医療機能ごとの病床数						
担うべき医療機関としての役割	医療機能ごとの病床数					介護保険施設等に移行
	高度急性期	急性期	地域急性期	回復期	慢性期	
桑員構想区域の高度急性期・急性期医療や救急医療の中心的な役割を担うとともに、周産期医療の県最北端の拠点としての役割を担う。 ☑救急 ☑小児 ☑周産期 ☑災害	67	270	63			
いなべ市唯一の総合病院として、いなべ地域の急性期医療について、中心的役割を担うとともに、回復期機能についても対応する。また、行政、医療機関、訪問看護が一体となった地域包括システムの構築を目指す。 ☑救急 ☐小児 ☐周産期 ☑災害		162	58			
いなべ市に2つしかない一般病院の1つとして、現状の急性期機能及び慢性期機能を維持し、介護施設入所者の急変対応等の役割を担う。 桑員区域の救急医療の一翼を担うとともに、回復期機能の充実を図る。 ☑救急 ☐小児 ☐周産期 ☑災害			106		48	
2021年の移転新築に伴い両病院を統合し、救急・産婦人科・小児科・内科系を中心とした急性期・回復期機能を軸とする多機能病院としての役割を担う。 ☑救急 ☐小児 ☐周産期 ☐災害		46	58			
二次救急輪番病院として急性期機能を維持するとともに、桑員区域における唯一の緩和ケア病棟を持つ病院として、その機能の充実を図る。 ☑救急 ☐小児 ☐周産期 ☐災害		34	20			
在宅医療、介護の拠点として、在宅患者の後方支援や終末期医療、急性期・回復期からの転院先としての機能を担う。					160	96
在宅医療への対応を図るため、有床診療所(療養)に変更し、その役割を担う。					19	
慢性期医療及び在宅医療の推進を図るとともに、終末期医療を担う。					50	
地域医療、人工透析医療を行い、通院透析が困難となった患者の長期入院機能を担う。					48	
整形外科、リハビリテーション科、耳鼻咽喉科を標榜し、①病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能、②専門医療を担って病院の役割を補完する機能、③緊急時に対応する機能、④在宅医療の拠点としての機能、⑤終末期医療を担う機能を担う。			19			
産婦人科を標榜し、①専門医療を担って病院の役割を補完する機能や、②緊急時に対応する機能を担う。			13			
眼科を標榜し、①専門医療を担って病院の役割を補完する機能、②緊急時に対応する機能を担う。			10			

2017年病床機能報告(アンケート調査反映後)						
医療機関名	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・無回答等	計
田淵眼科		4				4
大桑クリニック		2				2
もりえい病院附属湾岸さくらクリニック		1				1
浜島外科			19			19
宮口内科循環器科				19		19
青木内科				19		19
医療法人坂井橋クリニック				19		19
計	27	840	129	571	79	1,646

2025年に向けた役割・医療機能ごとの病床数						
担うべき医療機関としての役割	医療機能ごとの病床数					介護保険施設等に移行
	高度急性期	急性期	地域急性期	回復期	慢性期	
眼科を標榜し、専門医療を担って病院の役割を補完する機能を担う。			4			
外科を標榜し、①病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能や、②緊急時に対応する機能を担う。			2			
内科、小児科、リハビリテーション科を標榜し、①病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能、②緊急時に対応する機能、③在宅医療の拠点としての機能、④終末期医療を担う機能を担う。			1			
整形外科、外科、内科を標榜し、①病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能や、②終末期医療を担う機能を担う。				19		
内科、循環器内科、消化器内科(胃腸内科)を標榜し、①病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能、②緊急時に対応する機能、③在宅医療の拠点としての機能、④終末期医療を担う機能を担う。					19	
循環器内科を標榜し、①病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能、②緊急時に対応する機能を担う。					19	
内科、糖尿病内科(代謝内科)、リウマチ科を標榜し、①病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能、②在宅医療の拠点としての機能、③終末期医療を担う機能を担う。					19	
計	67	512	445	71	424	96

(計)

2025年の病床数の必要量	114	497	554	383	1,548
将来の病床の必要量(医療需要のピークを勘案)	119	536	604	417	1,676
将来の病床数の必要量と2025年に向けた医療機能ごとの病床数との差	-52	-24	-88	7	-157
協議を継続することとした病床数	0	0	0	0	0